

関常幸 議会報告

第32号
2013.10

発行責任者
南魚沼市議会議員 関 常幸
南魚沼市浦佐 2015 番地
TEL 025-777-2245



4年間を振り返り、3期目にむけて！

1期4年は無我夢中でアツと言う間に終わった感じだが、2期目は、総務文教委員長、最大会派・南魚みらいクラブの代表として充実した議員・政治活動を送った。61千市民の負託に応えただろうか…！私は、皆さんの声を届けながら、届ける以上の汗を掻いた。そして、2年前の3.11 東日本大震災、7.28 新潟福島豪雨災害の復旧復興に、行政・政治の力量がいかに重要だかを知る。

この8年間は、合併前の3町の町民との約束を果たしながら、負の財産の解消に努めた。まさに、南魚沼市の将来に向けた土台作りの時期であった。それを代表するのが、野球場建設を含む大原運動公園整備、六日町駅前ララ内に建設する図書館整備だ。

平成17年12月の初議会では、市の財政は新潟県でワースト1と聞きショックを受けるが、ワースト1の烙印を押された実質公債費比率も健全値(18%以下)を示す17.5%となる。財政健全化で始まり財政健全化で終わった8年間であった。

来年は合併10年です。20年に向けて新たなスタートだ。

その目標は「人口減少ストップ」です。現在60,760人の人口が10年後は54,760人、20年後は47,975人と1万人以上減少すると予測されている。

その実現のためには、南魚沼市の掲げるテーマ「自然、人、産業の和で築くまちづくり」の実践です。

私は、「生まれ・育ち・学び・働き・生涯」を、この地で安心して過ごせるまち(南魚沼市)づくりに向けて、さらに力強くすすむ覚悟です。

みなさまと共に考え歩みます。これからも宜しくお願い申し上げます。



9月定例議会最終日

任期最後の議会

9月議会は決算議会とも言われ、会期は3日から19日までの17日間。

議会初日は市長の所信表明後、請願・陳情が委員会に付託され、7つの24年度特別会計決算認定は大綱質問の後各委員会に付託される。

5日は社会厚生委員会、6日は産業建設委員会、総務文教委員会は12日審議終了後に開催される。

一般質問は9日から11日の3日間。22名の議員が市長と対峙。今期で勇退する我が会派の井上、松原議員の最後の質問を聞き、本当に長い間ご苦労様と感謝する。

一般会計の決算審議は3日間行なわれる。

会期最終日に「南魚沼市コシヒカリの普及促進に関する」条例の制定が発議される。全会一致で可決する。議員発議の条例は本市では初です。

最終日21日の案件中、共産党団は9件で反対する。その手法に一考をと言いたい。

一般質問(9月11日)

●水田農業の将来を国際大学と共同研究を

任期最後の一般質問ですので、何を取り上げようか迷いに迷いました。

基幹病院と市立病院の問題、人口減少問題。それよりも働く場・雇用の問題だな。それではメデカルタウン構想かと、通告当日、4日の朝になっても悶々としていました。

その時、机の上の「稲穂の市章」が目にとまり、「農業・百姓は、神に次ぐ職業」だと話してくれた、ロサンゼルス千野さんの言葉が頭をよぎりました。農は「国の基なり」です。任期最後の一般質問は農業問題と決めました。

この4年間、毎回の議会で、農業・コメ問題や農政問題が、一般質問で取り上げられなかったことは無かったと思います。

私も任期4年間・16回ある一般質問の中で6回取り上げて、南魚沼市の農業の発展、農家所得の向上、儲かる農業の推進のために、市長に提言をしまいましたが、数字として、形としてなかなか見えるものにはなりません。

これからは、外圧のTPP、内では更なる産地間競争が起こり、北海道から九州までのコメ産地は、生き残りをかけた競争がもう始まっており、みな必死です。

米環境が将来、今までとは全く異なる事を認識し、南魚沼コシヒカリの新たなる生産・販売・経営戦略をもたなくては、産地は無くなります。

コメ問題で、市長は常に話します。当市で生産される40万俵は40万人に販売すればいいと！

今こそ、市長が話された40万俵を40万人に販売する。これを実行に移す時ではないでしょうか。農家と農協と行政が一体となり、2年、3年かけても具体的計画をつくる。そのことが農家の希望

となり、更なる魚沼コシヒカリのグレードアップに繋がり、他産地の追従を許さないこととなります。

市では管内の中小企業のために、国際大学と提携して新たな取り組み「地域産業支援プログラム(アイクラブ)」を発足させました。

そこで市長に伺います。南魚沼コシヒカリ生き残りのためにも、「40万俵を40万人に販売する」の実現のために、農家とJAと行政が一体となり国際大学と共同研究(リサーチコラボレーション)で取り組むことが必要だと思いますがどうでしょうか。

最終日には、南魚沼コシヒカリの普及促進に関する条例が委員会発議で提案されます。そのためにも機動的にしない産地でなければなりません。

東京オリンピックの誘致の成功はオールジャパン・全ての業界が一体になり取り組んだ勝利とっております。

こめの販売・生産と言うとJAが主体になればとなりがちですが、市長が提言した、40万俵を40万人に販売するには、オール市民で取り組まなくては実現いたしませんし、オール市民・全員で取り組むことが南魚沼コシヒカリ、強みとして確たるものになるからであります。

以上で壇上からの質問はおわります。

<市長>

40万俵を40万人に販売するために、市が先頭を立てて行く。議会の皆さん方も全面的にご協力いただきたい。JAが違うとか、地域が違うとか、生産販売体制が違うとかを乗り越えて、完遂してゆかねばなりません。

そのための費用、どのくらいかかるのかわかりませんが、これは市を挙げて取り組みますので、財政面的なところは、JAにもお願いしていく。そういう決意です。

トピックス

7/4 ソチオリンピック
金メダル候補小野塚選手
激励会



7/15 夏祭り

7/27 生ビール
& 鮎まつり



8/3~4 一日一休さん

8/10~18
山門ライトアップ



<議会での主な一般質問と提言>

2期目の4年間16回の定例議会において29項目の市政の課題について、議場で市長と相対した。一般質問で常に心がけたのは、市長の施策に対し「私であればこのようにする」又は「新たな提案」をした。

以下、主な質問の概要を載せた。

<平成21年12月>

政権が変わり3か月が過ぎた。このような中で新年度がスタートするが、毎年、受診率や雇用の確保や学力の向上等多くの施策で成果が上がらない。予算編成に若手を導入したらどうか。

<平成22年3月>

中学生の海外派遣は予算の関係で20人だが、一人でも多く参加してもらうために、個人負担総額の3割(9万円)程度を、5割にすれば30人が参加できるが。

<平成22年6月>

魚沼コシヒカリを核とした更なる発展、強固な産地確立のために、JA魚沼みなみとJAしおざわの合併は不可欠だ。

<平成22年9月>

日本の総医療費は年間32兆円、そのうち生活習慣病10兆円。運動を行なえば10兆円節減できる。その原資を福祉に。健康と福祉の充実を望まない市民はいない。「市民一人一スポーツの推進」を。

<平成22年12月>

90年に渡って清津川の水を取込んだ魚野川。清津川の水は清津川に返せと十日町市と水争いが本格化してきた。大丈夫か。

<平成23年3月>

昨年10月に菅首相は唐突に臨時国会でTPP参加を表明する。TPPはわが国の枠組みをも変える問題だが見解を伺う。

<平成23年6月>

浦佐スキー場は来季閉鎖するが残念だ。地元の子供たちや小学校・中学校がスキー場に来なくなった。その対策は。

<平成23年9月>

新町の豪雨災害の被災状況や区の対応と併せ、流木が樋管を塞いだのが原因で浸水した。今後の対策は。

<平成23年12月>

原子力発電所の安全神話が崩壊した今、50キロ圏内といえども、早急に放射能避難対策を示されなければいけないが。

<平成24年3月>

基幹病院との連携や新市立病院(六日町、大和)建設については、いろいろの意見があるが医師の考えを第一にする。

<平成24年6月>

初代の市長として、次の4年間で合併の仕上げをし、次にバトンタッチすべしと、11月に行われる市長選挙への3選出馬を問う。

<平成24年9月>

井口市長3期目に向けての考えを聞いたです。

<平成24年12月>

中学生のNRT・学力調査結果は、全国や新潟県を下回っている。学力向上をどうすべきか。

<平成25年3月>

24年産米の1等米比率、過去に例のないほど悪い。魚沼コシヒカリは崖っぷちだがその対策は。

<平成25年6月>

北陸新幹線の開通で上越新幹線本数が削減されないか、また「ほくほく線」の将来は。そして、浦佐駅西の活性化策は。

8/13 お墓まいり



8/16 戦没者招魂慰霊祭

8/25 浦佐地区
市民明朗運動会



9/1 第27回
耐久山岳マラソン大会



9/14 浦佐城跡
草刈り



9/14~15
八海山石水石展

かわら版(ミニ情報)

★任期最後の定例議会終わる(9月3～19日)

今期で勇退を表明された5名の先輩議員の、皆さま本当にご苦労様でした。町会議員から市会議員となり、まさに南魚沼市の土台を作り発展にご尽力されました。どんな心境で本議会を迎えたのでしょうか……。



議場にて

●平成24年度一般会計決算状況(千円)

歳入総額	歳出総額	差引額	翌年度へ	実質収支額
36,016,848	35,016,090	1,000,758	135,344	86,5414

24年度は上記のように繰り越し財源を除いた実質収支は8億65百万円の黒字ですが、前年度からの実質収支額7億21百万円と財政調整基金1億64百万円を差し引いた、実質単年度収支額は2,008万円の赤字ですが、前年度よりは6,838万円改善されています。

●財政は健全化に

法律に基づく24年度決算にかかる健全化判断比率の4指標はすべて問題なく、実質赤字比率、連結実質赤字比率とも該当はありません。新潟県で財政ワースト1と言われていた実質公債費比率も17.5%で、前年度から1.6%減少し起債に許可が必要となる18.0%を下回り、将来負担比率とともに早期健全化基準以下となっており市の財政は心配ありません。

●県立武道館設置を求める意見書に共産党が反対!

県立武道館の誘致には、新潟市、加茂市、燕市、上越市、南魚沼市の5市が名乗りを挙げ、激しい誘致合戦が始まっている。まさか反対が出るとはだれもが思わなかっただけに、市長を始め我々議員もビックリするよりはあきれの方が大きかった。それより以上に議会が全員賛成でない事が新潟県に悪い印象を与えなければいいがとそれの方が心配だ。共産党の反対の理由は二つで、私に言わせれば詭弁、屁理屈でしかないと思った。

★中越地区市議会合同研修会(8月19日)

今年の会場は三条市。演題は「アベノミクスと地域社会」。今日的な内容で耳を立てて聞く。議員は「一人NPO」であり、市民と一緒に汗を流すことが大切と。



三条市熊倉議長

★浦佐地区敬老会(9月8日)



富町



鰺島



浅地町



川原町



境川



田町



新町



天王町

編集後記

★全国に大きな被害をもたらした台風18号は、南魚沼市に大雨を降らせ、9月16日お昼頃大雨警戒本部を設置する。魚の川の水位が上昇したため、塩沢地区で避難準備情報が発令され一時は緊迫する。

一昨年に続いて天王町・川原町・新町で道路冠水する。抜本的な対策が必要。



★議員3期目は「恩給」がつくネ…と数人の人に言われた。議員年金は二年前に廃止です。

★9月20日の議員立候補予定者説明会に30人の陣営が来る。無風からここにきて4人超過の大激戦の様相を呈してきた。

★TPPに代表されるように農業の環境は厳しいですが、収穫の喜びは格別です。収穫に感謝。